

令和5年度（2023年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

【A日程入試】法律専門科目試験

商法 出題の意図

問題1

会社法上、極めて重要な基本原則である株主有限責任の原則について、定義及び条文の指摘はもちろん、その長所（投資の容易性等）と短所（会社債権者の犠牲等）を記述することによって、同原則を正確かつ十分に理解しているかを問うものである。

問題2

取締役の報酬請求権に関する一連の最高裁判例に関する理解を問うものである。

問い（1）①は、お手盛り防止のため、定款及び株主総会等によるコントロールが必要であること、②については、それに伴う不当利得返還請求権及びその請求の限界につき、最高裁平成15年2月21日判決（金判1180号29頁）及び同平成21年12月18日判決（判時2068号151頁）を正確に理解しているかを問うものである。

問い（2）は、取締役の報酬の変更につき、役職変更に伴い、会社側が一方的に報酬額を変更することができるかを問うものであり、最高裁平成4年12月18日判決（民集46巻9号3006頁）の理解を問うものである。